



2026年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年6月13日

上場会社名 株式会社coly 上場取引所 東
 コード番号 4175 URL https://colyinc.com
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 中島 杏奈
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長（氏名） 村上 寛奈 (TEL) 03(3505)0333
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第1四半期の業績（2025年2月1日～2025年4月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年1月期第1四半期	1,253	39.1	△230	—	△226	—	△125	—
2025年1月期第1四半期	901	4.4	△498	—	△504	—	△524	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年1月期第1四半期	△22.74	—
2025年1月期第1四半期	△95.36	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2026年1月期第1四半期	6,573	5,044	5,044	5,044	76.7
2025年1月期	6,283	5,254	5,254	5,254	83.6

(参考) 自己資本 2026年1月期第1四半期 5,044百万円 2025年1月期 5,254百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年1月期	—	—	—	—	—
2026年1月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年1月期の業績予想（2025年2月1日～2026年1月31日）

2026年1月期の業績予想については、非開示といたします。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年1月期1Q	5,502,900株	2025年1月期	5,502,900株
② 期末自己株式数	2026年1月期1Q	80株	2025年1月期	80株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年1月期1Q	5,502,820株	2025年1月期1Q	5,502,820株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

2026年1月期の業績予想については、非開示といたします。詳細は、添付ページ3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、2025年6月13日(金)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復が続きました。一方で、欧米の高金利の継続や中国の不動産市場の停滞など、海外経済の減速が景気の下振れ要因となっています。さらに、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社が主に事業を展開する日本のモバイルオンラインゲーム市場は、2012年より市場が拡大し2024年には1兆7,290億円となり、成長は鈍化傾向にあるものの(注1)、安定した市場規模を維持しております。また、2023年には国内モバイルゲームユーザーは女性ユーザーが半数以上を占め、当社のメインターゲットとなる層のユーザー数は増加し続けております(注2)。しかし、海外ディベロッパーのモバイルオンラインゲームをはじめとした高品質な商品の台頭や、開発の長期化や開発費の高騰等、市場環境は厳しさを増しています。一方で、2024年のキャラクタービジネスの推定市場規模については前年を上回る見込みであり、底堅く推移しました。

このような市場環境を受け、当社ではゲーム・メディア(グッズ販売・イベント開催等のゲーム外展開を指す)双方からIPを盛り上げ、末永くユーザー様に楽しんでいただけるIP運営を目指しました。

モバイルオンラインゲーム事業については、前期にリリースしたオリジナルIPタイトル『ブレイクマイケース』が売上増加に寄与し、売上高は前年同期を上回りました。2025年5月の1周年に向けて、ゲーム内外での各種施策やマーケティング施策等の準備を進めました。『魔法使いの約束』につきましては2025年1月から3月までTVアニメを放映した影響もあり、MAUは増加傾向がみられ、売上は堅調に推移しました。『スタンドマイヒーローズ』につきましては、8周年以降、10周年を見据えた今後の展開を発表し多くの反響をいただいております。引き続き、各IPにおいてユーザー様にとって魅力のある運営を実施しながら、舞台やキャストイベント等のリアルイベントやグッズ等を絡めつつ、ゲームだけでなくIPとしての成長を目指してまいります。また、同時に新たなIPの創出・新たなゲームの開発を進行し、安定成長のための準備をすすめてまいります。

メディア事業においては、前述のとおりTVアニメ『魔法使いの約束』の放映や、『ブレイクマイケース』や『スタンドマイヒーローズ』の舞台化の準備等、メディアミックスをすすめたほか、各タイトルでのグッズ販売が好調に推移しました。また、異業種とのコラボレーション、「coly cafe! 池袋PARCO店」でのコラボカフェの開催等、ユーザー様とのタッチポイントを創出し、多方面から当社作品に触れる機会を提供し続け、売上高は前年同期を上回りました。

以上により、売上高につきましては、前年同期比で増加しました。売上高の増加に加え、Web上でゲーム内アイテムを販売する『coly ID』をリリース・導入したことにより手数料の圧縮が想定以上に進捗し、売上総利益についても前年同期比で増加しました。販売費及び一般管理費につきましては、大手エンターテインメント企業との協業案件の費用が先行したものの、前年同期比で減少いたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高1,253,678千円(前年同期比39.1%増)、営業損失230,932千円(前年同四半期は営業損失498,552千円)、経常損失226,054千円(前年同四半期は経常損失504,055千円)、四半期純損失125,129千円(前年同四半期は四半期純損失524,735千円)となりました。

なお、当社はコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報は記載しておりません。

(注1) 出典：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2025」

(注2) 出典：一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会「CESAゲーム産業レポート2024」

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて290,741千円増加し、6,573,963千円となりました。これは主に現金及び預金392,596千円が減少した一方で、投資有価証券173,534千円、商品140,279千円及びその他流動資産284,079千円が増加したことによるものです。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて500,365千円増加し、1,529,445千円となりました。これは主に一年内返済予定長期借入金150,000千円、長期借入金134,998千円及びその他流動負債119,070千円が増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて209,623千円減少し、5,044,517千円となりました。これは主に四半期純損失を125,129千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、これまで「もっと、面白く」を企業理念に掲げ、モバイルオンラインゲームの企画・開発及び運営を軸に自社IPの活用を中心とした事業展開に取り組んでまいりましたが、2026年1月期の業績予想は、以下の理由から合理的かつ信頼性のある業績予想の提示が困難と判断し、非開示といたします。

- ・2026年1月中リリース予定の大手エンターテインメント企業との協業案件のほか、新規リリース予定の事業について、売上高・利益の合理的な算出が困難であること
- ・モバイルオンラインゲーム市場を取り巻く競合環境の変化が激しく、売上動向の予測が困難であること
- ・新規開発等への機動的な投資判断を実施すること

中長期的には、当社が得意とする女性向けエンタメ市場（注1）において、IP数の増加と事業領域の拡大を継続することが当社の成長につながると考えており、末永くユーザー様に寄り添うことのできるオリジナルIPを育て上げ、ゲームやメディアに加えて新たなEX体験（注2）を提供していきたいと考えております。現在はそれらのIPを多く創出・育成する時期と認識しており、機動的な投資判断が必要となることが想定されるため、売上・利益予測は非開示とさせていただきます。なお、今後の進捗を踏まえ、業績予想の算定が可能になった場合は速やかに開示する方針です。

(注1) 女性向けエンタメ市場とは

エンタメ業界/エンタメ領域の中で、比率として女性のお客が多い市場を指します。

(注2) EX体験とは

当社の造語で「Entertainment Transformation」または「Emotion Transformation」の略であり、あらゆる産業において「感情」を揺さぶられるような体験の提供が求められる状態を想定しています。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,357,555	2,964,958
売掛金	494,603	455,427
商品	97,849	238,128
短期貸付金	121	—
その他	120,966	405,045
流動資産合計	4,071,095	4,063,560
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	19,463	109,205
工具、器具及び備品（純額）	19,287	40,413
建設仮勘定	—	16,400
有形固定資産合計	38,750	166,018
無形固定資産		
ソフトウェア	28,512	26,753
ソフトウェア仮勘定	2,500	13,800
無形固定資産合計	31,012	40,553
投資その他の資産		
投資有価証券	1,740,664	1,914,199
敷金	160,534	160,534
差入保証金	93,000	100,000
長期貸付金	9,622	—
その他	148,163	129,096
貸倒引当金	△9,622	—
投資その他の資産合計	2,142,362	2,303,830
固定資産合計	2,212,126	2,510,402
資産合計	6,283,221	6,573,963

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	129,789	205,975
一年内返済予定長期借入金	10,008	160,008
短期借入金	70,000	40,000
未払法人税等	22,244	14,222
契約負債	277,852	291,826
賞与引当金	19,888	78,749
その他	467,939	587,009
流動負債合計	997,722	1,377,791
固定負債		
長期借入金	16,656	151,654
繰延税金負債	14,702	—
固定負債合計	31,358	151,654
負債合計	1,029,080	1,529,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,309	1,910,309
資本剰余金	1,905,309	1,905,309
利益剰余金	1,405,413	1,280,283
自己株式	△203	△203
株主資本合計	5,220,828	5,095,698
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,312	△51,181
評価・換算差額等合計	33,312	△51,181
純資産合計	5,254,140	5,044,517
負債純資産合計	6,283,221	6,573,963

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2024年2月1日 至2024年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自2025年2月1日 至2025年4月30日)
売上高	901,100	1,253,678
売上原価	629,519	771,798
売上総利益	271,580	481,879
販売費及び一般管理費	770,133	712,811
営業損失(△)	△498,552	△230,932
営業外収益		
助成金収入	427	—
受取利息及び配当金	27	5,275
その他	8	471
営業外収益合計	463	5,746
営業外費用		
支払利息	—	744
貸倒引当金繰入額	5,909	—
為替差損	36	111
その他	20	12
営業外費用合計	5,966	868
経常損失(△)	△504,055	△226,054
特別利益		
固定資産受贈益	—	104,033
その他	—	702
特別利益合計	—	104,736
特別損失		
投資有価証券評価損	—	1,853
関係会社株式評価損	20,000	—
その他	—	145
特別損失合計	20,000	1,998
税引前四半期純損失(△)	△524,055	△123,317
法人税等	679	1,812
四半期純損失(△)	△524,735	△125,129

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む等事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社は、コンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	2,499千円	10,806千円